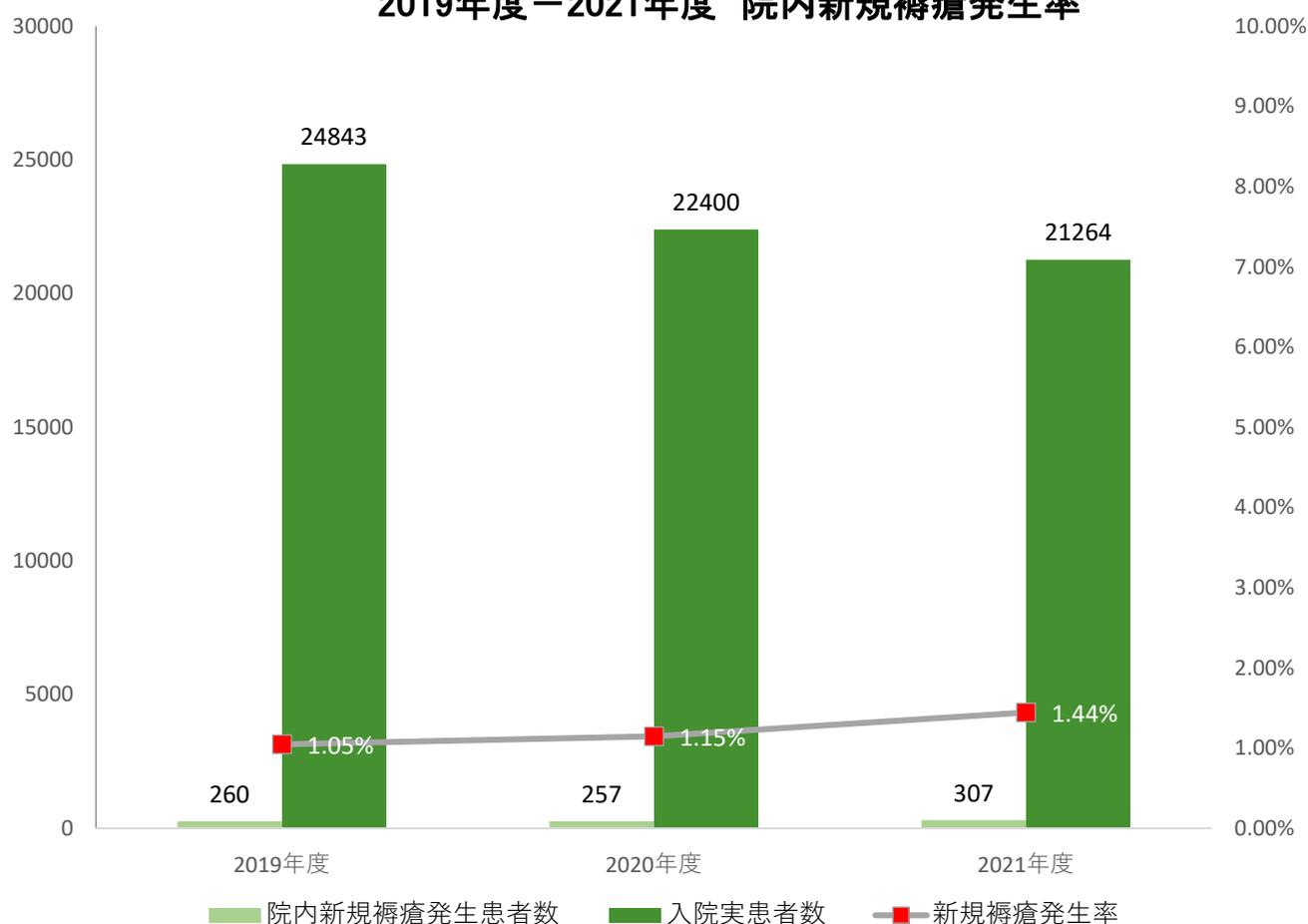


2019年度－2021年度 院内新規褥瘡発生率



【指標の説明】

褥瘡発生率は、看護ケアの質指標において重要な指標の1つです。
褥瘡は患者のQOL低下をきたすとともに、感染症のリスクが上がります。
感染症を起こすと入院期間の延長や医療費の増加に繋がります。

2021年度の新規褥瘡発生率の上昇については、褥瘡対策チーム内で「d1」(持続する発赤)レベルについても褥瘡と捉えているため新規発生率はやや高くなっています。
早期から積極的に褥瘡対策チームの介入や病棟への指導を行っているため、皮下組織以上の深い損傷の割合は少なくなっています。

【計算方法】

分子:d1(持続する発赤)以上の院内新規褥瘡発生実患者数
分母:入院実患者数